現地調査内容　動物・植物

・対象事業実施区域およびその周辺200mの範囲を対象に、動物（哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・陸上昆虫類・陸産貝類・魚類・底生動物）・植物の調査を実施しています。

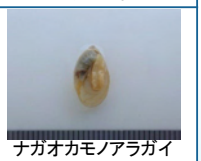
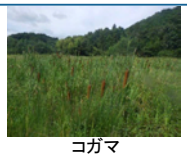
・生態系の頂点に位置し、行動範囲が広い猛禽類については、荒神山全域を調査対象としています。

・対象生物の確認に適した調査時期・調査手法を選んで実施しています。

調査位置

現地調査結果　動物・植物

調査項目	確認種数 (重要な種の確認数)	代表的な 重要な種
哺乳類調査	6目9科14種 （3目3科5種） ※2季(春･夏)	 カヤネズミ(巣)
一般鳥類調査 **※猛禽類の確認種含む**	16目36科51種 （9目16科20種） ※2季(春･初夏)	 ケリ
猛禽類調査 **※一般鳥類調査との重複種を含む**	2目3科11種 （2目3科11種） ※9回(2～10月)	 オオタカ(幼鳥)
両生類調査	2目4科8種 （2目3科6種） ※4季(早春･春･初夏･夏)	 ヤマトサンショウウオ(卵)
爬虫類調査	2目8科9種 （2目5科5種） ※3季(春･初夏･夏)	 ヒガシニホントカゲ

調査項目	確認種数 (重要な種の確認数)	代表的な 重要な種
陸上昆虫類調査	18目176科447種 （3目3科7種） ※3季(春･初夏･夏)	 エゾトンボ
陸産貝類調査	1目8科16種 （1目3科4種） ※１季(初夏)	 ナガオカモノアラガイ
魚類調査	4目7科20種 （4目5科13種） ※2季(春･夏)	 アブラボテ
底生動物調査 **※水生昆虫類を含む**	6綱15目41科78種 （5目6科11種） ※2季(春･夏)	 マツカサガイ
植物調査	119科488種 （6目9科11種） ※2季(春･夏)	 コガマ

注）重要な種：レッドデータブックに記載された絶滅危惧種などの本事業における保全対象種

現況調査結果を踏まえた考察

・対象事業実施区域においても、重要な動物・植物の生息・生育が確認されました。

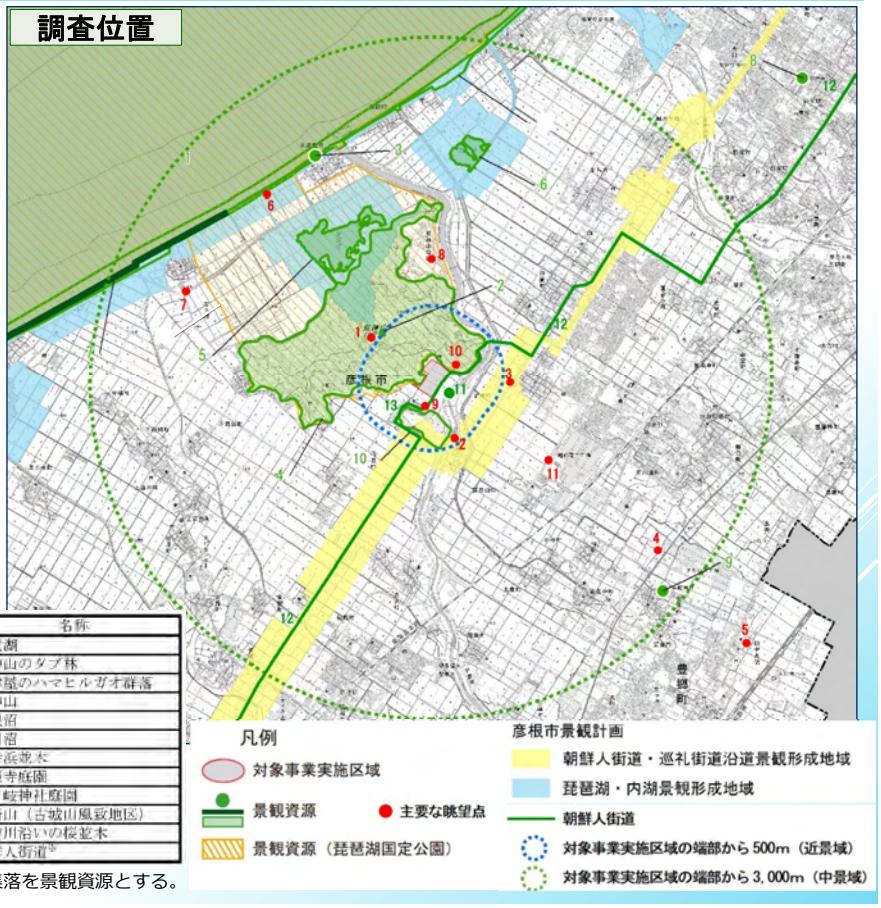
・現時点では、“県内でここにしかいない”など、対象事業の実施が種の存続に及ぼす影響が大きいと考えられる種は確認されていません。

・今後は、種ごとに事業の影響を予測し、影響があると認められた場合は、専門家の指導のもと、必要に応じて個体を移殖などの環境保全措置を実施することにより、自然環境と共存するための方策を検討していきます。

・既存資料調査および方法書へのご意見を踏まえ選定した【主要な眺望点】（右図の●1～11）より、眺望景観の写真撮影を行いました。

・代表的な地点の眺望景観は、P31～33に示す通りです。

・今後は、フォトモンタージュによる眺望景観の変化の程度や【景観資源】（右図の●1～12 ）の視認性の変化について予測します。

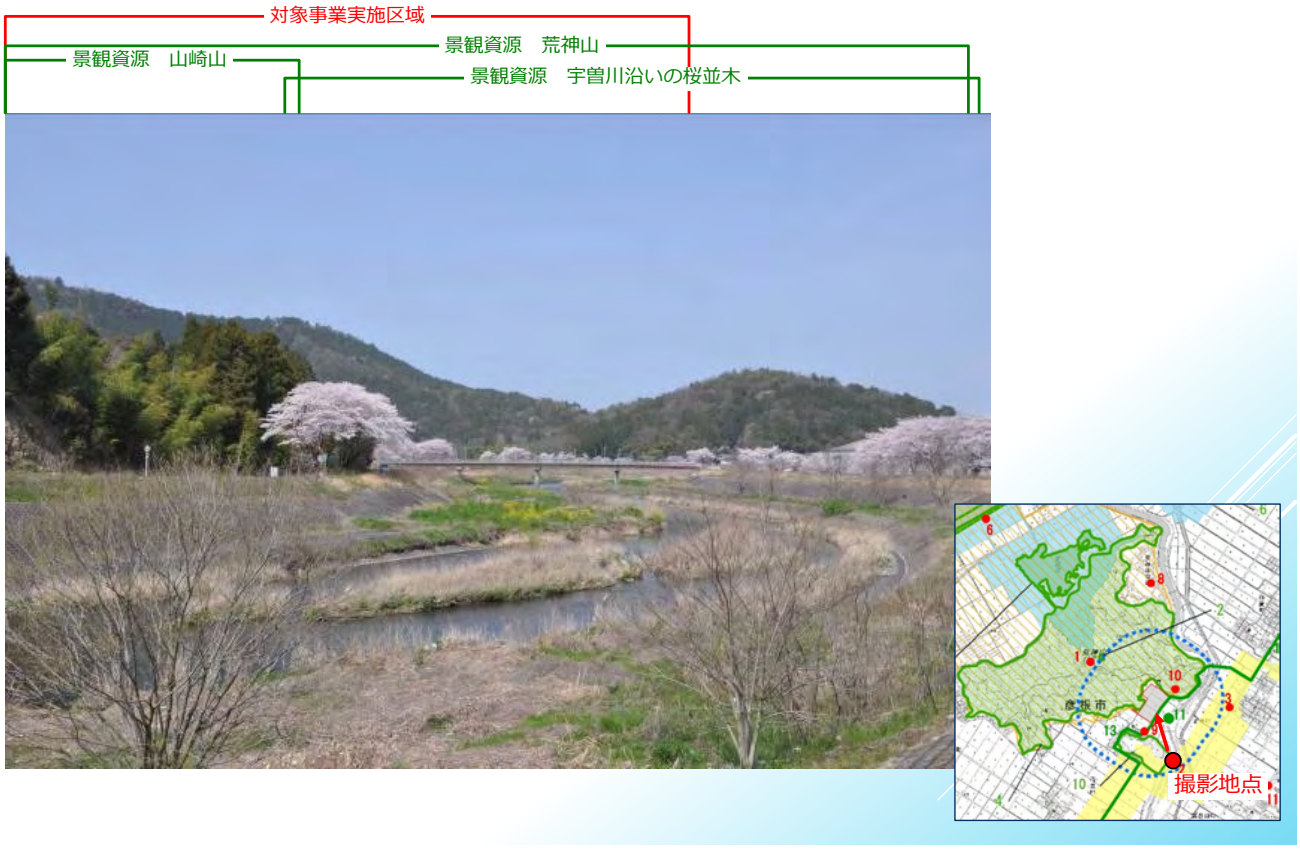


	No.	名称
主要な眺望点	1	林道荒神山線（荒神山）
	2	宇曽川大山橋
	3	グリーンピア交差点
	4	豊郷町国道8号
	5	豊郷小学校旧校舎群
	6	湖岸道路①
	7	湖岸道路②
	8	荒神山公園
	9	西清崎（南）集落
	10	天満天神社
	11	亀山小学校通学路（昭和電工前）

	No.	名称
景観資源	1	琵琶湖
	2	荒神山のタブ林
	3	三津屋のハマヒルガオ群落
	4	荒神山
	5	曽根沼
	6	野田沼
	7	石寺浜遊水
	8	明照寺庭園
	9	阿自岐神社庭園
	10	山崎山（古城山風致地区）
	11	宇曽川沿いの桜並木
	12	朝鮮人街道※

※朝鮮人街道については、街道周辺に広がる農地や集落を景観資源とする。

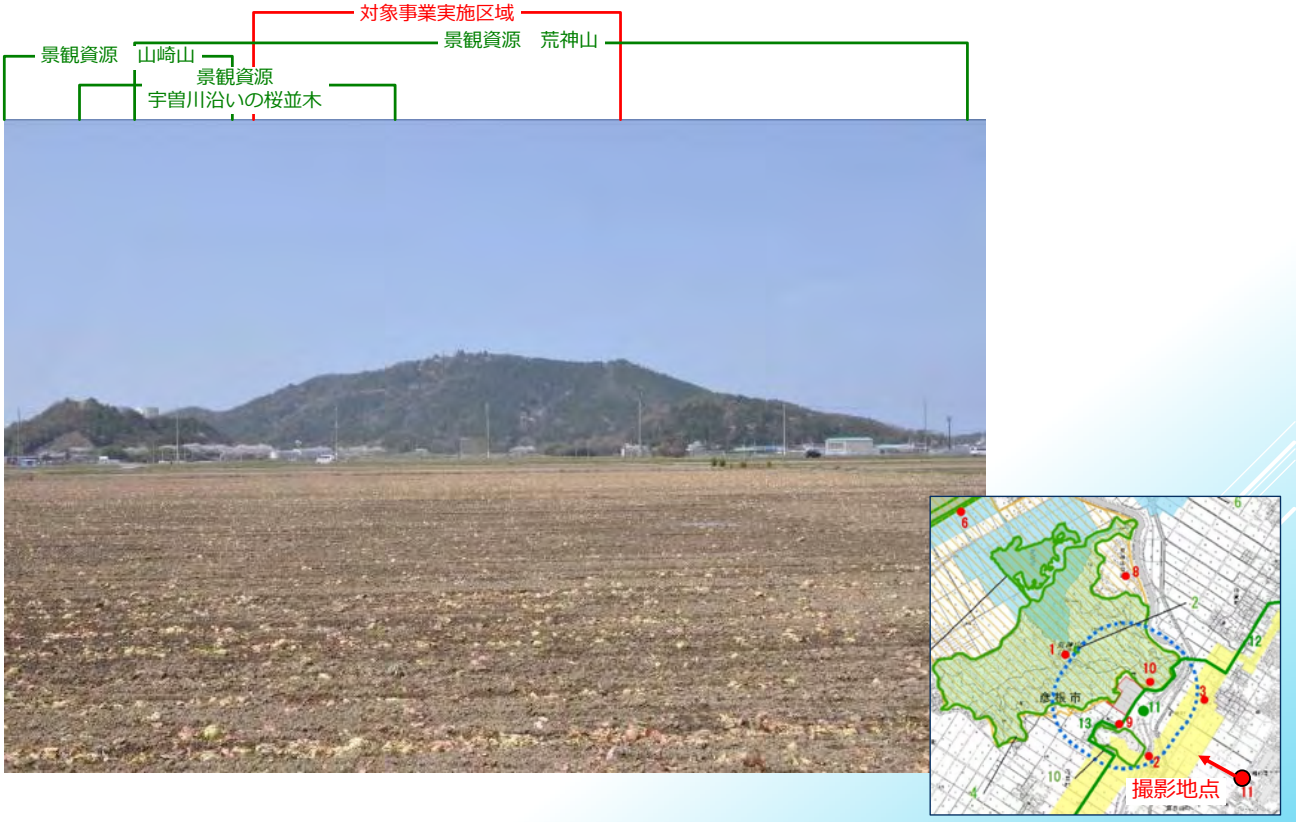
・代表的な眺望景観（2宇曽川大山橋）



・代表的な眺望景観（10天満天神社）

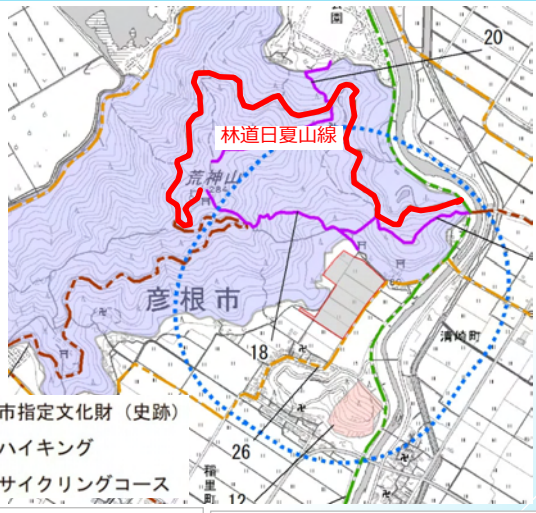
現地調査結果　景観

・代表的な眺望景観（11亀山小学校通学路）

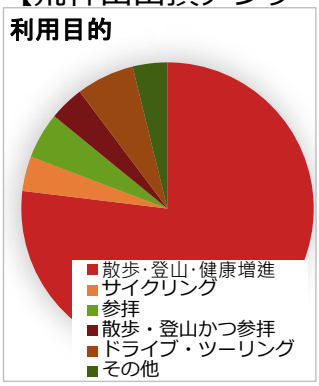


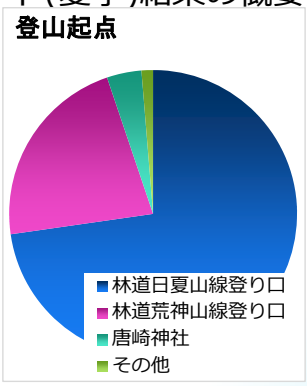
現地調査結果　人と自然との触れ合いの活動の場

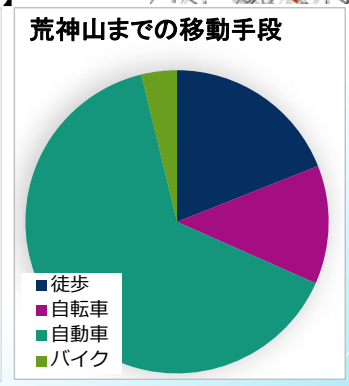
・対象事業実施区域およびその周辺500mの範囲に分布するハイキング道やサイクリング道において、休日の利用者数の把握調査を実施しています。
・併せて、荒神山山頂において、利用実態のアンケートを実施しています。
・夏季のアンケートでは、組合圏域より自動車で訪れ、麓より林道日夏山線を利用する、散歩・登山・健康増進を目的としたハイカーで、週に1回以上のリピーターが多いという結果が得られました。

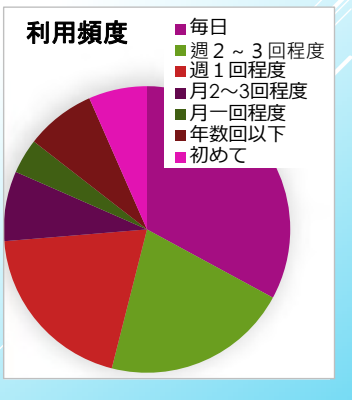


【荒神山山頂アンケート(夏季)結果の概要】







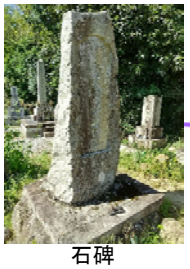


現地調査結果　文化財

文献調査・現地調査より、以下の地点において有形文化財が確認されました。

【その他の文化財】

石碑（道標）



石碑

地蔵

【登録文化財】

荒神山神社　拝殿

荒神山神社　神楽殿

【市指定文化財】

荒神山神社　遙拝殿

現地調査結果　伝承文化

文献調査・聞き取り調査より、以下の伝承文化が確認されました。

【主な伝承文化】

名称	実施場所	内容
太鼓祭	天満天神社	東清崎町・西清崎町・賀田山町、計3町の太鼓が巡行・天満天神社に集結する。
水無月祭	荒神山神社	茅の輪くぐり・子供神楽が奉納。遙拝殿参道には屋台が出店し、地元民で賑わう。
へび岩信仰	荒神山山中	歴史が古く、地元の守護神として大切にされる岩。年末はしめ縄清掃を実施。

【天満天神社　太鼓祭（4/11）】

※今年度は新型コロナ感染防止のため、神事のみ執行。

【荒神山神社　水無月祭（6/29・30）】

茅の輪くぐり（遙拝殿）

子供神楽（神楽殿）

宵祭（参道の屋台）

【へび岩】

「へび岩信仰」や「天満天神社太鼓祭」について、情報が不足していることから、関係者への聞き取り調査を実施したいと考えています。

聞取り調査のご協力のお願い　文化財・伝承文化

地域で大切にされている有形文化財・伝承文化や、参考となる郷土史資料をご紹介ください。

【有形文化財について】

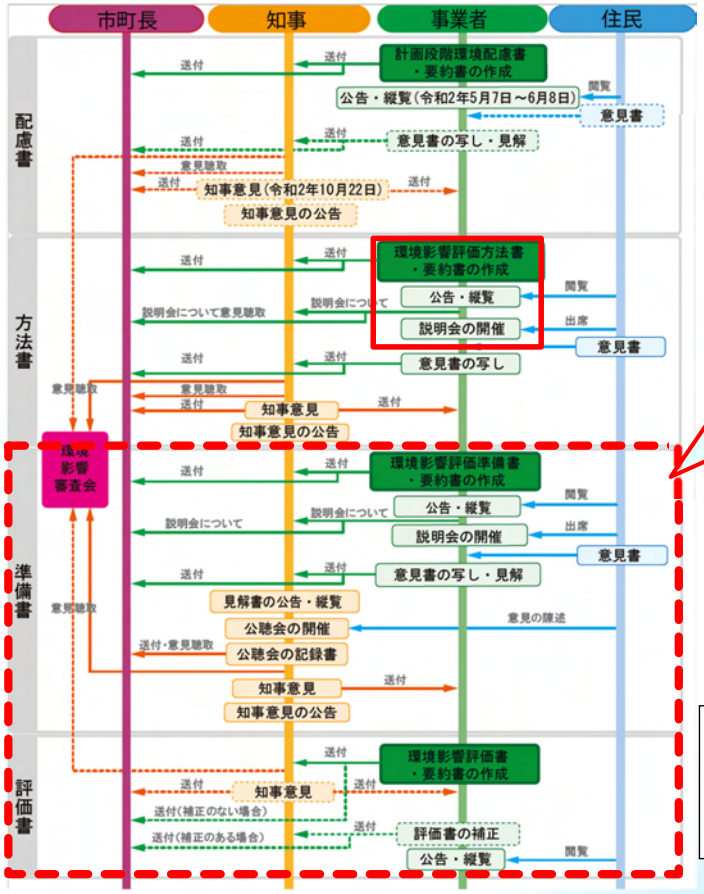
- 調査で確認された以外にも、地域で大切にされている有形文化財があれば、情報提供をお願いいたします。
- 調査で確認された文化財についても、詳細情報（成立時期、保存状況、保存活動の意向や課題など）について、お聞かせください。

【伝承文化について】

- 地域に根付いた主要な地元行事（各集落の地蔵盆など）があれば、情報提供をお願いします。
- 「へび岩信仰」や「天満天神社太鼓祭」についての詳細をお聞かせください。

5. 今後の環境影響評価手続きについて

今後の予定・手続きについて

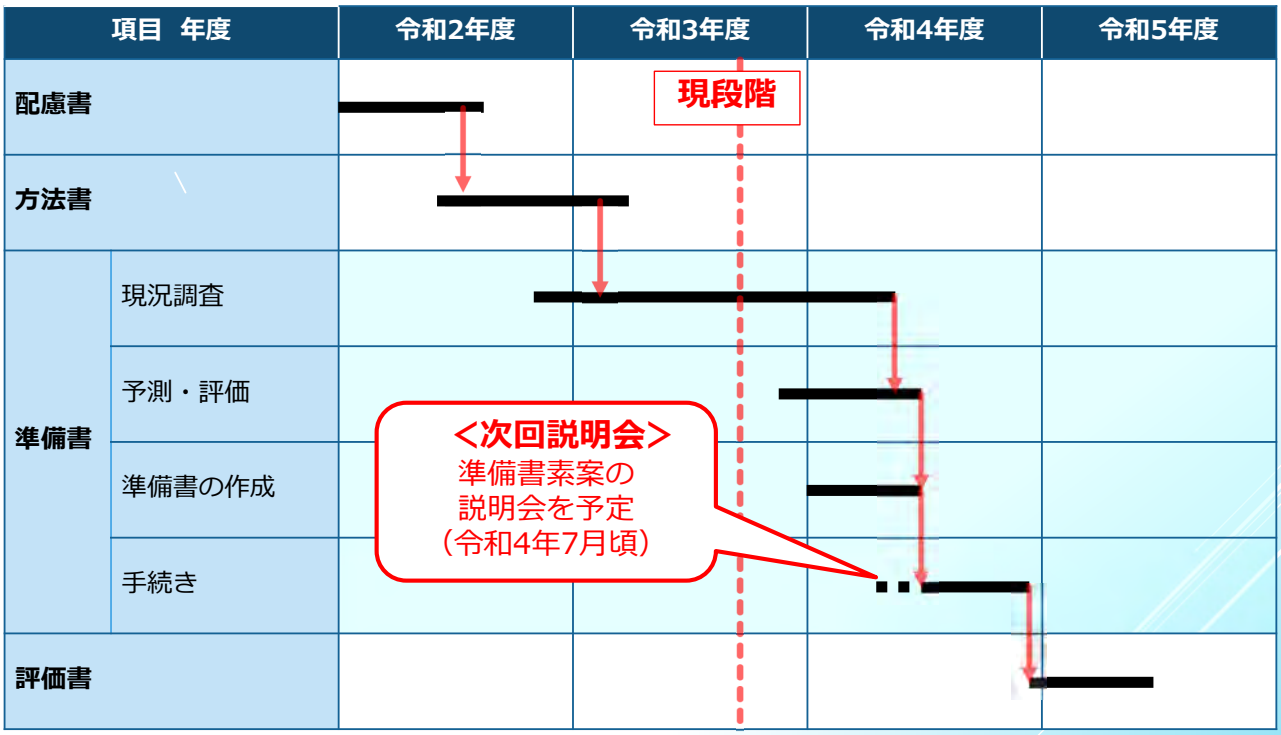


現況調査の結果を踏まえ、事業の実施による影響の予測・評価を実施し、「準備書」の作成およびその後の手続きを進めていく予定です。

○条例に基づく主要な手続等を示したものです。
○破線の手続きは行われない場合があります。
○事業者が評価書を知事に送付したのち、評価書の補正が不要な場合は、その評価書を事業者から市町長に送付します。
補正が必要な場合は、事業者が補正を行い、知事及び市町長に送付します。

注）「滋賀県環境影響評価条例の手続きの流れ」（滋賀県HP）より作成しました。

今後の環境影響評価スケジュール（現時点の想定）



注）現時点での計画であり、変更になる可能性があります。